



## NVIDIA と Audi、世界最先端の AI 搭載自動車の開発で提携 2020 年の路上走行実現へ

**米国ラスベガス—CES— 2017 年 1 月 4 日—**NVIDIA(本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO：ジェンスン・フアン (Jen-Hsun Huang)、Nasdaq：NVDA) と Audi は本日、10 年にわたる両社のパートナーシップを本格化させ、2020 年の路上走行実現に向け最先端の AI 搭載自動車の共同開発を進めることを発表しました。

CES のオープニングの基調講演に登壇した NVIDIA の創設者兼 CEO であるジェンスン・フアン (Jen-Hsun Huang) は、Audi のアメリカ法人 Audi of America の社長であるスコット キーオ (Scott Keogh) 氏をステージに迎え、運転の複雑さを解消するために Audi 車の今後のモデルでディープラーニングが採用される予定であると述べました。

この新たな提携の第 1 段階では、自動運転車向け AI プラットフォーム [NVIDIA DRIVE™ PX](#) に焦点を合わせ、トレーニング済みの AI ニューラルネットワークを利用して周辺環境を把握し、安全な進路を事前決定できるようになることを目指します。

フアンは次のように述べています。「NVIDIA は、ディープラーニング型 AI による交通改革を率先して進めています。Audi が当社の AI 搭載自動車向け DRIVE コンピューティング プラットフォームを採用することで、次世代の自動運転車の普及が加速されるはずで、これにより、運転の安全性が高まり、新たなモビリティ サービスが誕生する未来へと近づくことができるでしょう。」

また、キーオ氏は次のように述べています。「Audi のドライバーはパフォーマンスとテクノロジーの頂点を知っています。路上走行の安全性向上に向けた両社の共同研究において、Audi と NVIDIA のパートナーシップをディープラーニングや人工知能へと拡大することで、より高度な自動運転車の路上走行を早期に実現したいと考えています。」

CES 2017 の目玉の 1 つは、Audi Q7 コンセプト カーのデモです。来場者は、運転席が無人の自動運転車の後部座席に試乗できます。

DRIVE PX 2 を搭載し、NVIDIA DriveWorks ソフトウェアを実行する Q7 には、ディープ ニューラルネットワーク「NVIDIA PilotNet」が採用されています。NVIDIA PilotNet は、変化する周辺環境を認知

して理解しながら、安全な走行を実現します。コースはデモ中に変更され、さまざまな路面を体験でき、車線が引かれていない箇所や、迂回が必要な工事区間などのシミュレーションも用意されています。

フアンは基調講演で、AI がドライバーのニーズを予測するしくみ（朝の通勤時と夜の帰宅時の運転、ガレージの扉の自動開閉、個々の好みに合わせた車内環境の調整）のほか、自然な会話の言語で要求を理解し、対応できるしくみについても説明しました。

CES で NVIDIA と Audi が最初に揃って登場したのは今から 7 年前です。両社は当時発表したテクノロジー パートナシップを着実に拡大してきました。その成果には、受賞歴のある Audi MMI ナビゲーションや Audi バーチャル コックピットなどがあり、それらは現在、Audi の各種セダン、SUV、スポーツカーで幅広く提供されています。また、今後数か月のうちに、Audi は最新の「A8」をロールアウトする予定です。zFAS を利用した Traffic Jam Pilot システムを採用し、世界初の「レベル 3」自動運転車である A8 には、NVIDIA のハードウェアとソフトウェアが搭載されています。

#### **本件に関するお問い合わせ先:**

エヌビディア エンタープライズマーケティング本部 広報  
吉川香葉子 Email アドレス : kyoshikawa@nvidia.com  
Tel : 03-6743-8712 Fax : 03-6743-8799

エヌビディア広報事務局  
株式会社イニシャル 中村/南部/秋山  
Email アドレス : nvidia@vectorinc.co.jp  
Tel : 03-5572-6073 Fax : 03-5572-6065

#### **NVIDIA についての最新情報:**

公式ブログ [NVIDIA blog](#)、[Facebook](#)、[Google+](#)、[Twitter](#)、[LinkedIn](#)、[Instagram](#)、NVIDIA に関する動画 [YouTube](#)、画像 [Flickr](#)。

#### **NVIDIA について**

NVIDIA が 1999 年に開発した GPU は、PC ゲーム市場の成長に拍車をかけ、現代のコンピューターグラフィックスを再定義し、並列コンピューティングを一変させました。最近では、GPU ディープラーニングが最新の AI、つまりコンピューティングの新時代の火付け役となり、世界を認知して理解できるコンピュータ、ロボット、自動運転車の脳の役割を GPU が果たすまでになりました。今日、NVIDIA は「AI コンピューティングカンパニー」として知名度を上げています。詳しい情報は、<http://www.nvidia.co.jp/> をご覧ください。

本プレスリリースに記載されている、自動運転の路上走行実現に関するタイミング、今後のディープラーニング搭載の Audi 社の車モデル、DRIVE PX および Audi 社の DRIVE コンピューティングプラットフォーム採用のインパクトおよび利点、ディープラーニングによる交通への変化、Audi 社 Q7 有人ドライビングデモ、Audi 社の

A8の展開は大幅に異なる結果が生じるリスクと不確実性を伴っています。かかるリスクと不確実性は、世界的な経済環境、サードパーティーに依存する製品の製造・組立・梱包・試験、技術開発および競合による影響、新しい製品やテクノロジーの開発あるいは既存の製品やテクノロジーの改良、当社製品やパートナー企業の製品の市場への浸透、デザイン・製造あるいはソフトウェアの欠陥、ユーザーの嗜好および需要の変化、業界標準やインターフェースの変更、システム統合時に当社製品および技術の予期せぬパフォーマンスにより生じる損失などを含み、その他のリスクの詳細に関しては、Form10-Qの2016年10月30日を末日とする四半期レポートなど、米証券取引委員会（SEC）に提出されているNVIDIAの報告書に適宜記載されます。SECへの提出書類は写しがNVIDIAのウェブサイトに掲載されており、NVIDIAから無償で入手することができます。これらの将来予測的な記述は発表日時点の見解に基づくものであって将来的な業績を保証するものではなく、法律による定めがある場合を除き、今後発生する事態や環境の変化に応じてこれらの記述を更新する義務をNVIDIAは一切負いません。

© 2017 NVIDIA Corporation. All rights reserved. NVIDIA、NVIDIA ロゴおよび、NVIDIA DRIVE はその他の国における NVIDIA Corporation の商標あるいは登録商標です。その他の企業名および製品名は、それぞれ各社の商標である可能性があります。機能や価格、供給状況、仕様は、予告なく変更される場合があります。